



5月、楽しみにしていた春の遠足を、心と体いっぱい楽しんだ子どもたち。第1回『かたにしクラブ』として、保護者ボランティアの方にご協力いただき、大和民俗公園への遠足へ出かけた年長きり組と年中れんげ組。初めて園外へのお出かけをした年少うさぎ組。しっかり歩いて、夢中で全身で遊んで、心に残る経験を楽しんだ子どもたちです。

～「夢中になる」ために、今年度工夫している園環境について～

片桐西幼稚園では、「夢中になる」ことを大切にするために、子どもたちや職員の発想を活かし創意工夫した園環境をつくっています。今年度、特に工夫していることをご紹介します。

【かたにしルーム】

年長の隣にある材料室を、今年度、職員が大改装しました。今までは、先生と一緒にいていた材料室を、配置や安全性を十分考え改良し、『子どもたちが必要な時に必要な物を、自ら選び使うことができる材料室』にしました。子どもたちが「自分で選ぶ環境」は、主体性を育み夢中になって遊ぶために必要な環境です。早速、子どもたちはかたにしルームに出入りして、心をワクワクさせて必要な物を選び過ごしています。



「何を使おうかな」自分で選ぶ環境があることで、子どもたちの好奇心や意欲も膨らみます。

「みんなのかたにしルームって分かるようにしようよ」
子どもたちのアイデアを活かした看板づくり。
子どもたちの思いがいっぱいの『かたにしルーム』
です。

【かたにしフォトギャラリー】

IT化で、教育の中でもタブレットを活用する時代です。今年度幼稚園では、『えほんランド』の充実と、子どもたちの知的好奇心や感性を育むために、図鑑やタブレットを購入していきます。子どもたちの「何だろう」「おもしろい」「調べてみよう」「なるほど」「分かったぞ!」と感情が動く**学びの体験**は、子どもたちが夢中になって遊ぶ原動力となります。そして、**子どもたちが心を動かされた事象を、自由にタブレットで撮った全園児の写真を、今年度『かたにしフォトギャラリー』として、12月18日(月)~20日(水)の3日間、ホールに展示する予定ですのでご期待ください。**片桐西幼稚園の子どもたちの知的好奇心・感性の素晴らしさや、片桐西幼稚園教育の魅力を広く知って頂くため、保護者の方はもちろんのこと、地域の方にも来て頂けるように計画しています。そして、『かたにしフォトギャラリー』を開催するにあたり、事業支援をしていただけるように、今年度、大和郡山市の「子どもの学びアイデアサポート事業」にも応募しています。みんなが楽しくワクワクする片桐西幼稚園をめざし、創意工夫しています。



幼稚園でタブレットに触れた子どもたち。好奇心いっぱい、触ったり試したりしながらタブレットを使っています。まずは自由に試しながら、タブレットを使う経験を重ね、扱い方や活用の仕方を分かっていきます。

♪5月号 通信を読まれた感想等の他、何でもありましたらお待ちしております♪

クラス() 保護者名()